
中国情報（WTO/FTA・貿易・安全・その他）

2009年8月5日号

◎2009年6月における中国の油糧・食油市場観測情報

【中国農業部】

中国農業部は先ごろ、2009年6月における油糧・食油市場の観測情報について発表した。その概要は以下のとおりである。

※ この記事は、中国農業部の了解を得て、独立行政法人農畜産業振興機構が翻訳提供しているものです。内容の一部または全部を転載等する場合は、資料元が当機構によるものである旨を必ず明らかにして下さい。

1 国内植物油原料価格は上昇、国内食用植物油価格はバラツキ

2009年6月、湖北地区菜種工場買取価格はトン当たり3,669元、前月比6.8%高・前年同月比31.1%安、山東省地区二級落花生仁（種子の中の食べられる部分。殻むき落花生）卸売価格は同5,580、前月並み、前年同月比37.2%安、同地区四級大豆油工場出荷価格は7,390元、前月比1.4%安、前年同月比34.4%安、広州港パーム油（融点24℃）港到着価格は同6,640元、前月比6.4%安、前年同月比37.8%安、湖北地区四級菜種油工場出荷価格は7,995元、前月比1.5%高、前年同月比36.1%安、山東地区落花生油は同10,820元、前月比4.4%高、前年同月比37.9%安となった。

2 国際植物油原料及び食用植物油価格は上昇後下落

2009年6月のカナダ産菜種のCNF価格（C&F価格、1990年の国際商業用語改正後はCFR価格：運賃込み価格＝FOB（本船渡し）価格＋運賃。以下同じ）はトン当たり510ドル、前月比6.1%高、前年同月比31.7%安となった。米国の大豆油のFOB価格は838ドルで、前月比1.9%安、前年同月比39.6%安、マレーシア産パーム油（融点24℃）のFOB価格は751ドルで、前月比8.9%安、前年同月比39.6%安となった。

3 輸入菜種のCIF・通関後価格は国内価格を上回った

2009年6月のカナダ産菜種の通関渡し価格（Duty Paid：C I F＋関税等）はトン当たり3,669円で、国内菜種の工場入荷価格に比べ737元高くなった。米国メキシコ湾における大豆油のF O B価格はトン当たり838ドルで、これを5,726元と換算すると、国内消費地区の国産大豆油価格に比べ1,665元低かった。また、山東省における輸入大豆油の通関渡し価格は7,260円で、当地の国産大豆油価格に比べ130元程度安かった。

4 食用植物油輸入は大幅に増加、食用植物油輸入は減少

海関統計によると、2009年1-5月の食用植物油籽の輸入量は、前年同期比31.3%増の1,872万トンとなり、そのうち大豆は同27.3%増の1,738万トン、菜種は前年同期比の1.5倍の119万トンであった。

2009年1-5月の食用植物油の輸入量は、前年同期比9.6%減の324万トンであった。そのうちパーム油は同3.3%減の225万トン、大豆油は同36.6%減の72万トン、菜種油は前年同期の1.2倍の22万トンであった。

5 2008/09年度世界植物油原料の生産量は大幅減少と予測され、全体の供給はひっ迫

F A Oの6月の予測によれば、2008/09年度世界植物油原料の予測生産量は4.305億トンから前年度比0.7%増の3.951億トンに引き下げられた。需要から見ると、本年度の植物油脂需要量は前年度比3.1%増の1.616億トンと予測されている。また、世界の植物油脂とふすま・ぬか等の粕の在庫消費は各々13.2%（0.4ポイント減）、12.6%（1.0ポイント減）と全体の供給はひっ迫している。